



イノベーションを情報で支援する会社。

axetimes & Partners

報道関係者各位
プレスリリース

2026 年 8 月 19 日
アックスタイムズ株式会社

フィジカル AI の技術・市場・政策を調査 2040 年予測 189 兆円

技術開発で先行する米国、制度整備を進める欧州、製造業・物流業が中心の日本、国策で推進する中国

情報ナレッジサービスを展開する市場調査会社のアックスタイムズ株式会社（所在地：大阪府大阪市中央区、代表取締役：橋本規宏）は、フィジカル AI の技術・市場・政策を俯瞰的にまとめた調査報告書「フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版 [No.1 総括・政策・基盤編]」を、2026 年 7 月 21 日にリリースしたことをお知らせします。

フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版

■No.1 総括・政策・基盤編／■No.2 ハードウェア編／■Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例

本調査結果は、レポート販売されるほか、イノベーション・スタートアップ施策を推進している企業・経済団体・自治体向けに、調査結果の内容を含む講演・セミナーとしても商品展開されます。なお、「解説ウェビナー」の特別開催を後日予定しており、本調査報告書を事前にご購入いただいた方を対象にご招待します。詳しくは本プレスリリースの後半の案内をご覧ください。



【調査報告書から得られる内容】

- ・インタビュー調査を含む一次情報と体系的な公開情報調査で市場活動を可視化
- ・個別技術ごとの「市場規模・将来予測・シェア・用途等」の市場環境を理解
- ・技術開発 709 事例を収録した Excel データセットで網羅的な取り組みを確認

【こうした方にオススメ】

- ・関連業種：AI 開発・IT 開発・製造・通信・電力・ガス・物流・小売・建設など
- ・製造業の場合：ロボット・電機・自動車・制御機器・機械部品・半導体など
- ・経営企画部・事業企画部・新規事業部・研究開発部／研究者／技術者の方々

※本プレスリリースの後半では、調査報告書の一部を無料で確認していただける「購入検討サポート」の案内を掲載しております。

■調査背景・目的

AI 技術の急速な進化を背景として、現実世界を認識し自律的に判断・行動する「フィジカル AI」への注目が高まっています。ヒューマノイドロボット、FA ロボット、自動車、ドローン等への AI 技術の実装が進んでおり、AI・ソフトウェア関連企業だけではなく、製造業、物流業、建設業、自動車業界等のハードウェア関連企業においても新たな事業機会の創出が見込まれています。

一方で、技術動向や市場環境は流動的であり、全体を俯瞰した情報を整理することが難しい状況にあります。こうした背景を踏まえ、本調査では、フィジカル AI 市場について、市場規模予測やフロー・ストック推移に加え、市場構造、用途、技術開発、企業動向、政策動向等を体系的に整理・分析し、市場全体を俯瞰するとともに、その将来性と事業機会を可視化することを目的として実施しました。

〔調査報告書の構成〕

No.1 総括・政策・基盤編 | No.1+No.2 の個別市場の集計・分析を含む全体調査結果を収録

No.2 ハードウェア編 | 個別技術ごとの市場規模・シェア、課題、用途等を調査

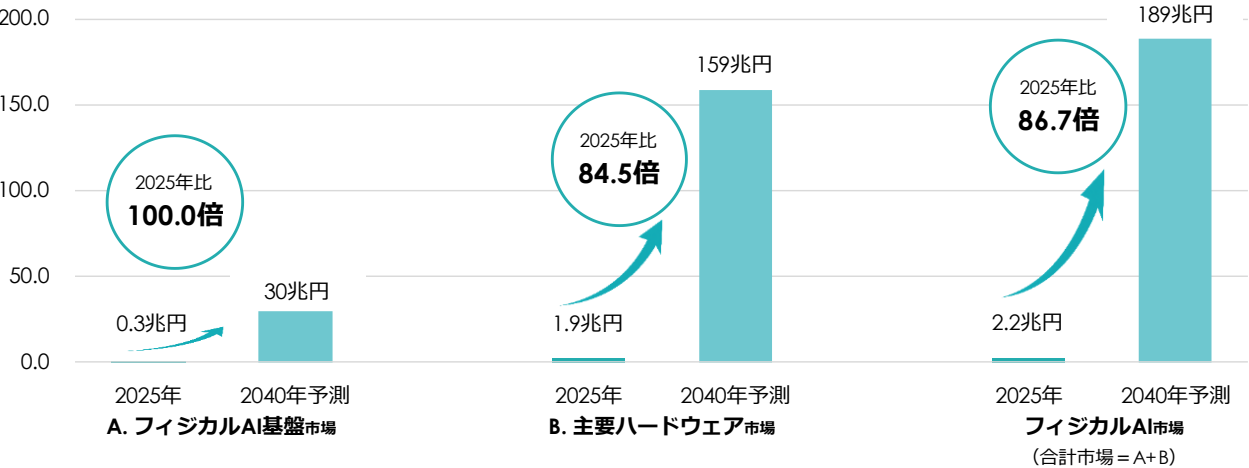
Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例

本調査ではフィジカル AI 市場の理解を深める網羅的な調査を実施しました。
技術戦略・事業戦略の立案、新規事業開発の市場環境把握などにご活用ください。

■調査結果（抜粋）

〔フィジカル AI 市場の現状と将来展望 | 世界市場の 2025 年・2040 年を抜粋〕

単位 | 兆円



(0.1兆円未満を四捨五入して表示)

[アックスタイムズ推定]

〔グラフ参照元〕

単位：十億円

技術分類	2025年	2040年予測	2025年比	CAGR 2040年/2025年
A. フィジカルAI基盤市場	300	30,000	100.0倍	35.9%
B. 主要ハードウェア市場	1,881	159,000	84.5倍	34.4%
合計	2,181	189,000	86.7倍	34.6%

[アックスタイムズ推定]

(注記 B. 主要ハードウェアに含まれる対象：01. ヒューマノイドロボット、02. 四足歩行ロボット、03. FA ロボット、04. 搬送ロボット、05. 建設機械、06. 農業機械、07. 乗用車・ロボタクシー、08. トラック、09. ドローン、10. 配送ロボット)

フィジカル AI 市場（フィジカル AI 基盤市場と主要ハードウェア市場の合計）は、立ち上がり段階にあり、2025 年の市場規模は 2 兆 1,810 億円と推定しました。今後はフィジカル AI 基盤やハードウェアの技術向上に加え、社会実装に向けた制度整備や標準化、量産体制の整備などが進むと考えられます。2030 年代には社会実装が本格化し、2040 年に 189 兆円の市場規模に拡大すると予測されます。

フィジカル AI 基盤：本調査におけるフィジカル AI 基盤の市場定義には、ソフトウェア、計算基盤、開発基盤等の構成技術を含みます。

2025 年時点では、自動車や FA ロボットなどの先行分野を中心に市場が形成され、AI モデル、AI 半導体、シミュレーション、開発基盤等の需要が拡大しています。2040 年に向けては、ヒューマノイドロボット等のフィジカル AI 機器の普及に伴い、AI の共通化やシミュレーションによる学習・検証の効率化、高性能 AI 半導体やクラウド基盤の活用が進み、市場は継続的に拡大する見通しです。米国では技術力の高い企業が多く、市場をけん引します。日本では製造業や物流業を中心に導入拡大が見込まれ、欧州では制度整備、中国では国策による投資や実証・事業化を背景に市場が拡大すると予測されます。

主要ハードウェア：本調査では、ヒューマノイドロボット、四足歩行ロボット、FA ロボット、搬送ロボット、建設機械、農業機械、乗用車・ロボタクシー、トラック、ドローン、配送ロボットを調査対象として、メーカー出荷ベースで市場規模を算出しました。

2025 年時点では乗用車・ロボタクシーが市場を牽引しています。その他のハードウェアは実証・限定導入が中心であるものの、AI モデルやハードウェアの性能向上を背景に技術開発が進展しており、本格的な社会実装に向けた移行準備が進んでいます。AI モデルやセンシング技術の高度化に加え、半導体性能の向上、量産化による価格低下、制度整備や標準化等が市場拡大を後押しします。2030 年代には複数のハードウェアが商用レベルとして量産体制に入ること、市場全体が本格成長の局面へ移行します。多様なハードウェアの社会実装が進むことで、市場規模は大幅に拡大すると予測されます。

■ 調査項目

I. 総括・政策編

01. フィジカル AI 市場の現状と市場予測
02. フィジカル AI 市場規模推移（金額 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）
03. フィジカル AI 市場の構造図解（フィジカル AI 基盤・ハードウェア・主要用途）
04. 市場形成を支える要素と産業構造変化のポイント
05. 潜在市場規模一覧 [A・B・C 20 技術]
06. 全体市場規模推移（金額 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）
07. 技術別市場規模推移（金額 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）[A・B 11 技術]
08. 全体フロー推移（数量 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）
09. 技術別フロー推移（数量 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）[B : 10 技術]
10. 全体ストック推移（数量 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）
11. 技術別ストック推移（数量 | 2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年 | 世界・日本）[B : 10 技術]
12. 年代別ストック推移と 2040 年普及水準

13. 指標スコア一覧

- (1) 市場・技術・政策・需要・供給スコア (2025 年) [A・B・C : 20 技術]
- (2) 市場スコア推移・技術スコア推移 (2025 年 | 2030 年 | 2035 年 | 2040 年) [A・B・C : 20 技術]
- (3) 地域別市場スコア (2025 年 | 米国・欧州・日本・中国) [A・B : 11 技術]

14. 業界課題とフィジカル AI の導入事例

- (1) 現状課題と業界の目指す姿
- (2) 業界課題を踏まえたフィジカル AI の導入事例 [13 業界]

15. 技術別主要用途

- (1) 技術別用途特徴 [A・B・C : 20 技術]
- (2) 主要ハードウェアの主要用途・想定用途 [B : 10 技術]
- (3) 技術別主要用途・概要 [A・B・C : 20 技術]

16. 技術開発の方向性 (2020 年代 | 2030 年代 | 2040 年代)

17. 業態別の技術開発への関与度 [16 業態]

18. 技術別の技術課題と課題レベル [A・B・C : 20 技術]

19. 技術開発を担う企業群・大学・研究機関の位置付け

- (1) 主な役割と開発領域
- (2) 米国ビッグテック (Google・Amazon.com・Meta Platforms・Apple・Microsoft Corporation・NVIDIA・Tesla)
- (3) 中国ビッグテック (Alibaba Group・Baidu・Huawei・Tencent Holdings)
- (4) AI・ソフトウェア企業
- (5) ロボット・ハードウェアメーカー
- (6) 大学・研究機関

20. 技術別参入企業特徴 [A・B・C : 20 技術]

21. 主要国・地域の政策比較 (日本・米国・欧州・中国)

22. 日本のフィジカル AI 政策

- (1) 政策の全体像
- (2) 政策概要 (戦略・ロードマップ・関連施策)
- (3) 技術開発・研究プログラム

23. グローバル政策動向

- (1) 米国
- (2) 欧州
- (3) 中国
- (4) その他 (カナダ・韓国・シンガポール・オーストラリア・インド・イスラエル)

II. 技術・市場編

A. ソフトウェア・システム

01. フィジカル AI 基盤

[共通調査項目] (対象 : II. 技術・市場編 | A. ソフトウェア・システム)

01. 技術概要／構成技術

02. 技術課題

03. 実績用途／想定用途

04. 指標スコア

(1) 市場・技術・政策・需要・供給スコア (2025 年)

(2) 市場・技術スコア推移 (2025 年 | 2030 年予測 | 2035 年予測 | 2040 年予測)

05. 潜在市場規模 (SAM ベース、将来の最大普及時点を想定)

06. 参入企業数

07. 市場規模推移・地域別動向

(1) 市場規模推移 (2025 年～2030 年 | 2035 年 | 2040 年、世界・日本、ストック・フロー・市場規模)

(2) 地域別動向 (2025 年 | 米国・欧州・日本・中国) ※市場スコア

08. シェア・主要企業の動向

(1) シェア (2025 年)

(2) 主要企業の動向

09. 事例リスティング

「No.2 ハードウェア編」へ続く

ハードウェア編では、19 技術の市場を分析しました。

主要ハードウェア：10 技術（例：ヒューマノイドロボット、四足歩行ロボットなど）

タスク特化型ハードウェア：9 技術（例：清掃ロボット、警備ロボットなど）

■ 調査概要 ※詳細は商品サイトをご確認ください

調査目的 | フィジカル AI の技術・市場・政策・事例を体系的に理解することによる情報支援

調査対象 | 20 技術（ソフトウェア・システム：1 技術、主要ハードウェア：10 技術、タスク特化型ハードウェア：9 技術）

為替前提 | 市場規模の算出では、150 円/USD（2025 年平均）を前提とした。

なお、2026 年以降の為替変動および物価変動は考慮せず。

指標スコア | 5 指標を指標ごとに 1～9 で評価（市場・技術・政策・需要・供給）

調査範囲 | 世界、日本（市場規模・フロー・ストックの推移における「日本」は「世界」の内数）

調査方法 | 業界インタビューおよび公開情報調査をベースに専門市場調査員が整理・分析

調査期間 | 2026 年 4 月～2026 年 7 月

調査実施 | アックスタイムズ株式会社

■ 商品概要

調査報告書名：フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版 [No.1 総括・政策・基盤編]

発行日 | 2026 年 7 月 21 日

体裁 | PDF_Slide16:9_85pages

価格 | 事業所ライセンス版 PDF 税込 99,000 円（税抜 90,000 円）

企業ライセンス版 PDF 税込 148,500 円（税抜 135,000 円）

グループライセンス版 PDF 税込 247,500 円（税抜 225,000 円）

商品サイト：<https://axetimes.com/report/research-about-physical-ai-technology-and-market-global-2026/>

【FAQ：あなたの AI に業界知見・専門知識を追加】

本調査報告書は PDF 形式で提供しています。ご購入いただいたライセンスの種類やご利用の AI 環境によっては、調査報告書を AI に読み込ませ、情報収集や社内活用をより効率化できます。

例えば、調査報告書を AI に読み込ませることで、以下のような活用が可能です。

- ・調査レポート情報を活用した社内ドキュメント作成
- ・調査レポートを読み込んだ専門家（AI）と事業相談
- ・分かりやすい音声解説で社内に情報共有 など

AI での利用可否や対象となる環境・設定、ライセンスの種類などについては、「「調査報告書×AI 活用」に関するガイドライン」をご確認ください。

ガイドライン：https://info.axetimes.com/hubfs/support/CS_AI-guideline.pdf

【FAQ：購入検討サポート】（無料）

本調査報告書のご購入をご検討いただくにあたり、コンサルタントとのオンライン面談にて内容をご確認いただけます。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

サポートに相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/5sy9AVhmxn>（Microsoft Forms）

■フィジカル AI シリーズ 2026 特別価格のご案内

フィジカル AI を調査テーマとしたシリーズのセット購入として、特別価格をご用意しております。特別価格は商品サイトをご覧ください（シリーズ対象は下記の通り）。

フィジカル AI の技術・市場・政策&グローバル事例調査 2026 年版

No.1 総括・政策・基盤編

No.2 ハードウェア編

Excel データセット | グローバル事例リスティング | 709 事例

内容案内：<https://info.axetimes.com/hubfs/profile/2026-physical-ai-global.pdf>

■解説ウェビナーのご案内「フィジカル AI 市場の調査結果 2026」

本調査報告書をご購入の企業・団体を対象に、2026 年 10 月 26 日に解説ウェビナーを実施する予定です。参加対象となる企業・団体へは、事前に詳細のご案内をお送りします。

【解説ウェビナー概要】（予定）

テーマ：フィジカル AI 市場の調査結果 2026

内容：調査報告書の解説（使い方、重要ポイント）、質疑応答

開催日時：2026 年 10 月 26 日（月曜日）15:00～16:30 を予定 ※配信は録画される予定

開催方法：オンライン配信（Teams を予定）

登壇者：アックスタイムズ株式会社 イノベーション・スタートアップ担当（調査報告書の制作担当者）

参加料：無料（ただし、調査報告書をご購入の企業・団体の方々のみ）※録画の解説動画は有料販売を予定

テキスト：ご購入になった調査報告書

参加対象：2026 年 10 月 23 日（金曜日）までに本調査報告書をご購入の企業・団体

（事業所ライセンス版をご購入の事業所内でご関連の方々：最大 5 名）

（企業ライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大 10 名）

（グループライセンス版をご購入の企業・団体内でご関連の方々：最大 15 名）

■カスタム調査相談のご案内（市場調査代行）

アックスタイムズでは、調査結果の知見を生かし、事業企画・研究開発を情報面から支援する「市場調査代行」のご相談も可能です。ご希望の場合、下記フォームよりお問い合わせください。

カスタム調査のご相談方法など：<https://axetimes.com/note/about-axetimes-research/>

専門家に相談する：<https://forms.cloud.microsoft/r/E9PJpWNJ5m>（Microsoft Forms）

■企業・経済団体・自治体の皆さま

イノベーション・スタートアップ施策を推進している企業・経済団体・自治体向けに、調査結果の内容を含む講演・セミナーのご相談にも応じています。

講演のご相談：<https://axetimes.com/event-team/>

■メディアの皆さま

調査で培った専門的な知見を、実務や社会動向と結びつけてわかりやすく伝えることを重視し、取材対応・専門家コメントの提供などを承っております。

取材・寄稿のご相談：<https://axetimes.com/press-team/>

■会社概要

商号：アックスタイムズ株式会社

代表者：代表取締役 橋本 規宏

所在地：〒541-0053

大阪府大阪市中央区本町4丁目2番12号 野村不動産御堂筋本町ビル8階

設立：2021年4月26日

事業内容：調査レポート販売、市場調査代行、伴走型情報支援サービス、
市場調査研修、情報ナレッジサービス、Webメディア

公式WEB：<https://axetimes.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

アックスタイムズ株式会社

TEL：050-3555-6200

お問い合わせフォーム：<https://axetimes.com/contact-form/>